

特定建築物排出量削減計画書

(宛先) 京都府知事	H26年5月30日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都府木津川市木津南垣外110-9	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 木津川市長 河井 規子

工 事 の 種 別	<input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築			
工事着工予定年月日	平成26年9月1日			
工事完了予定年月日	平成28年1月31日			
特定建築物 の概要	名 称	棚倉小学校		
	所 在 地	京都府木津川市山城町綺田局塚14番地		
	構 造	P C aコンクリート造	階 数	地上3階地下1階
	敷地面積	10366.27 平方メートル	高 さ	11.4メートル
	建築面積	1222.54 平方メートル	床面積の合計 (増築部分の床面積)	3355.52平方メートル (平方メートル)
	用途別の床面積	住 宅	平方メートル	
		ホ テ ル 等		
		病 院 等		
		物品販売業を営む店舗等		
		事 務 所 等		
学 校 等		3355.52		
飲 食 店 等				
集 会 所 等				
工 場 等				
特定建築物の環境の保全についての配慮に係る性能に関する評価結果	BEE=1.3 B+			

府内産木材等の使用	府内産木材等の種類と使用量	① 第11条の2第1号ア該当木材等 ② 第11条の2第1号イ該当木材等 ③ 第11条の2第2号該当木材等 ④ 第11条の2第3号該当木材等 府内産木材等の使用量の合計量 (①+②+③+④)	4.23立方メートル 立方メートル 立方メートル 立方メートル 4.23立方メートル
	使用する用途	腰壁の内装材	
	府内産木材等の使用基準量	2.09立方メートル	
	当該建築物における木材の使用量の合計量	16.73立方メートル	
	木材が使用可能な居室の合計面積	1686.58平方メートル	
再生可能エネルギーを利用するための設備の導入	再生可能エネルギーを利用するための設備の種類	年間で利用可能な再生可能エネルギーの量	
	① 太陽光	57,896メガジュール	
	② 風力	メガジュール	
	③ 水力	メガジュール	
	④ 地熱	メガジュール	
	⑤ 太陽熱	メガジュール	
	⑥ バイオマス	メガジュール	
	⑦ その他 ()	メガジュール	
再生可能エネルギーの利用量の合計量 (①+②+③+④+⑤+⑥+⑦)	57,896メガジュール		
温室効果ガスの排出の量の削減を図るために実施する措置		概 要	
■ 外壁、屋根又は床の断熱		土間下：断熱材敷き厚25 押出法ポリスチレンフォーム2種 最上階天井裏：グラスウールマット厚100(16K)敷込み 外壁腰壁面：硬質ウレタンフォーム保温板1種2号 厚30	
■ 窓の断熱又は日射の遮蔽		居室の窓にはペアガラスを採用	
■ エネルギー消費効率の高い設備の導入		空調機には高効率機器の採用	
<input type="checkbox"/> 環境への負荷が少ない材料の利用			
■ 節水型設備の設置		水栓類には節水機能付を採用	
<input type="checkbox"/> 雨水、雑排水等の利用			
<input type="checkbox"/> 耐用年数が高い材料及び設備の利用			
<input type="checkbox"/> 建築物の維持管理の容易性に対する配慮			
■ 緑化の実施		現存する植栽は可能な限り存置 又、敷地北側に約1m×80mの植栽帯を設け、緑化を実施	
<input type="checkbox"/> その他			

注 1 該当する□には、レ印を記入してください。

2 この計画書には、次に掲げる事項が分かる書類を添付してください。

(1) 再生可能エネルギーを利用するために導入しようとする設備の内容

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減を図るために実施しようとする措置の内容

3 「府内産木材等の使用基準量」には、第22条第3項の規定により算出した数値を記入の上、その算出の根拠となる資料を添付してください。